

改造概要等説明書 (改造自動車等審査結果通知書)

指示事項

主要諸元比較表

(改造車・試作車・組立車)

項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準	
車名		東急	—	乗車定員人			—	
型式		TL5080C3S	—	最大積載量kg		37500	—	
自動車の種別		普通	—	車重 kg	前軸重	14050	≤10t	
用途		貨物	—		後前軸重	11925	≤10t	
車体の形状		セミトレーラ	—		後中軸重	11925	≤10t	
燃料の種類			—		後後軸重	11920	≤10t	
原動機型式			—		計	49820		
総排気量ℓ			—	最大安定	右	* 48	一般 ≥35°	
長さ m		12.440 (11.990)	≤12m	傾斜角度	左	* 48	一般 ≥30°	
幅 m		2.800	≤2.5m	タイヤ サイズ	前軸		—	
高さ m		1.680	≤3.2m		後前軸	295/80R22.5 152/149J		—
軸距 m		6.700+1.300+ 1.300=9.300	—		後中軸	295/80R22.5 152/149J		—
軸距 m	前軸		—	後後軸	295/80R22.5 152/149J		—	
	後前軸	1.780	—	積車時前軸			—	
	後中軸	1.780	—	タイヤ	後前軸	83.4	≤100	
	後後軸	1.780	—	荷重割合	後中軸	83.4	≤100	
室内又仕 荷台の内幅 m		11.680	—	%	後後軸	83.4	≤100	
側寸法 高さ m			—	積車時前軸 荷重割合			≥18, 20%	
			—	リヤ・			≤1/2	
車重 kg	前軸重	2570	—	オーバーハング m		2.690	11/20, 2/3L	
	後前軸重	3250	—	荷台オフセット m		2.450	—	
	後中軸重	3250	—	最小回転半径 m		* 10.1	≤12	
	後後軸重	3250	—					
計		12320	—					

能力強度等検討

制動能力	踏力 — kg	35 kg/ℓ	9.2 m	車枠強度	$\sigma_s/\sigma = 5000 / 652.0 \times 2.5 = 3.6 > 1.6$	
	空気圧	7.0 kg/cm ²		車軸強度	東急TF205型セミトレーラと同一	X
推進力	回転数	N_s/N		操縦装置強度		
	強度	σ_s/τ		緩衝装置強度	東急TF2523型セミトレーラと同一	X
				制動装置強度	東急TF2523型 TD2513型セミトレーラと同一	X
				連結装置強度	東急TF2523型セミトレーラと同一	X

- 注1. (改造車・試作車・組立車)の欄には、該当するものを○で囲むこと。
 注2. 能力強度等検討欄は、該当しないものは、省略したものは×を記入すること。
 注3. ※印は、コパティヤW-CW5400型トラックと連結時の計算値を示す。

改造等の概要

目的	重量物品の安全輸送をはかるため、低床式セミトレーラとして新たに製作されるものである。
車枠及び車体	全体の構造は梯子型で主レールとアウトリガおよびクロスメンバとは電気溶接で組まれており前部下面にキングピンを後部に車輪装置を取り付けている。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東急TT20S型セミトレーラと同一(6自審第184号新型自動車第2422号) 車軸は高強度鋼で中空角形断面の両端にスピンドルを溶接した構造を有し、 タイヤサイズは295/80R22.5 152/149Jを12本使用する。
操縦装置	
制動装置	東急TF2523型セミトレーラと同一(6自審第184号新型自動車第11051号) (主ブレーキ) 気圧内部減速式 東急TD2513型セミトレーラと同一(6自審第184号新型自動車第10997号) (駐車ブレーキ) スプリング式 ABS装置一式(車輪速度センサ、コントローラ、コントロールバルブ等) およびエアタンク38ℓを3個取り付け。
緩衝装置	東急TF2523型セミトレーラと同一(6自審第184号新型自動車第11051号) イコライザ付トリプルスプリング式サスペンションの平た円座ねばねば型である。
連結装置	東急TF2523型セミトレーラと同一(6自審第184号新型自動車第11051号) 第5輪方式
燃料装置	

注 変更のない事項については、斜線を記入すること。